

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 12 日作成)

小委員会名	建築人間工学小委員会		主 査 名：佐野 友紀 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)		委員長名：清家 剛 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>当小委員会は、建築空間・設備機器・家具の安全性や快適性の実現に必要な建築人間工学関連の知見を蓄積・更新し、これらを供給者ならびに生活者に提言することを目的とする。特に、近年の高齢化、情報化、グローバル化などの社会的動向を鑑みて、高齢者、障害者、子供などの多様なユーザーの生理・心理・行動特性をふまえた生活環境の質的向上について多面的に検討する。</p> <p>初年度： 1) 小委員会の開催 (5 回)。 2) 建築人間工学研究会の開催 (2 回)</p> <p>2 年度： 1) 小委員会の開催 (6 回) 2) 建築人間工学研究会の開催 (1 回) 3) 多様性設計事例集の収集</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：佐野 友紀 (早稲田大学 人間科学学術院) 幹事：藤井 皓介 (総務省消防庁 消防研究センター) 幹事：高橋 未樹子 (コマニー (株) 研究開発本部 研究開発課) 委員：老田 智美 (大和大学 理工学部理工学科建築学専攻) 小野 久美子 (国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部) 古賀 紀江 (関東学院大学 建築・環境学部建築・環境学科) 古瀬 敏 (一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会) 嶋田 拓 ((株) 明野設備研究所 防火設計) 田中 眞二 (積水ハウス (株) 総合住宅研究所) 田中 直人 (島根大学 客員教授) 徳田 良英 (帝京平成大学 健康メディカル学部理学療法学科) 畠山 雄豪 (東北工業大学 ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科) 馬淵 大宇 (岡山理科大学 工学部 建築学科) 吉岡 陽介 (千葉大学大学院 自然科学研究科)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>1) 情報技術を利用した人間工学的建築評価手法 WG (4 回開催) ・ LiDAR 技術を用いた生活環境の「評価手法」を検討した。 ・ 建築教育での利用に向けた没入型仮想空間の技術課題を抽出した。 ・ 議論の場としての研究会の開催を行った。</p> <p>2) 子供たちのユニバーサルデザイン学習に向けた出版 WG (5 回開催) ・ 小学校へのヒアリングをもとに本の構成や内容などの検討を行った。 ・ 作業の活発化を図るため、コア WG をつくり作業を進めている。</p>		
2022 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	<p>第 69 回建築人間工学研究会 「建築の 3 次元情報と視覚分析—ビジュアルデータマイニングの現在—」 参加者数 44 名</p>
<p>大会研究集会</p>	
<p>対外的意見表明・パ ブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)</p>	<p>1. 委員会活動は WEB での開催もあり当初の目標を上回る回数 (6 回) であつた。 2. 研究会は、オンライン開催をしたことで、遠方からの参加者が増え、従前の研究会と比べても、多くの参加者を得た。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>委員会は主にオンライン開催で行い効率的であったが、平時のような密なコミュニケーションがとりづらかった。</p>